

令和5年度 青果物販売情勢について

令和5年6月29日（木）現在

【 果 樹 】

「もも」

山梨県産「日川白鳳」中心の販売となっており、「加納岩白桃」が増量となっている。粒単価が高く大玉中心に荷動きが鈍い状況となっており、相場は保合。

品種：はつひめ

単価：特秀 15玉 4,000円 16玉 4,000円 18玉 3,500円 20玉 3,100円 22玉 2,900円

青秀 15玉 3,800円 16玉 3,700円 18玉 3,300円 20玉 2,900円 22玉 2,600円

【 野 菜 】

「きゅうり」

関東産減少と東北産の入荷量が横ばいで絶対量不足から相場が高騰した。今後、東北産露地の増量から売り場確保のため、相場を下げながらの販売となる見通し。

単価：5kg A品 2,200-2,000円

「ミニトマト」

西南暖地は概ね切り上がりとなったが末端の荷動き鈍く相場は保合となった。今後、夏秋作の増量を見越し売り場確保のため、相場を弱める見通し。

単価：200g パック AM 160円

「いんげん」

全体量増加と高値疲れから弱保合での相場となった。今後、関東産は減少の見込みも東北産の増量から売り場確保のため弱保合で推移する見込み。

単価：2kg 箱 A 3,000円

J A ふくしま未来
営農経済部園芸課